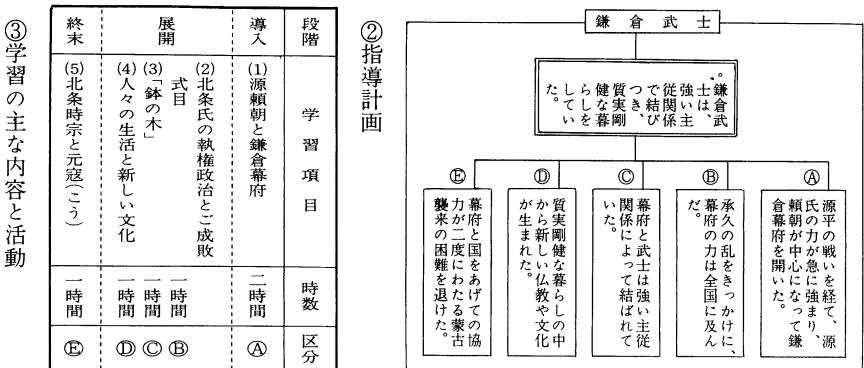


① 内容構造

Ⓐ	主な学習内容	
	主な学習活動	
・源頼朝の生い立ち	1	源頼朝の絵を見て話
・出生	2	し合う。頼朝の生い立ちを調
・伊豆配流	3	べ年表にまとめる。
・北条氏との結びつき		源平の戦いと平氏の滅亡を調べる。
・平氏との戦い		
	1	時



④	①	②	③	⑤
・元寇と幕府の衰退 ・蒙古襲来 ・文永の役 ・弘安の役 ・北条時宗 ・幕府への衰え	・鎌倉幕府 ・政治組織 ・守護地頭 ・征夷大將軍	・北条氏の執権 ・政治と敗北 ・式目の制定 ・承久の乱 ・ご成敗式目	・「鉢の木」に見られる鎌倉武士の様子 ・北条時頼と佐野源左衛門常世 ・武士の主従関係 ・「恩」「奉公」	1 行ったことを話し合う。 2 承久の乱について調べる。 3 武家政治の安定を通じて成敗式目を通して考える。
慶	慶	慶	慶	慶
1 歴史地図をもとに当時の蒙古の勢力について話し合う。 2 蒙古襲来と時宗を中心とした国をあげての対応について調べる。 3 幕府の衰えた原因を考える。	1 武士の暮らしと鎌倉文化 ・武士の生活 ・質素な生活 ・武芸の訓練 ・新しい仏教と文化 ・民衆に根ざした仏教 ・力強い文化 ・平家物語 ・彫刻(運)	1 新しい仏教や、力強い文化について調べ、表にまとめる。 2 武士の生活の意図を見て、衣食住など暮らしの様子を調べる。	1 「恩」と「奉公」の関係から、主従関係について考え、話し合う。 2 ご家人について調べ話し合う。 3 「恩」と「奉公」について考え、話し合う。	1 「鉢の木」物語を手がかりに、武士の気風を話し合う。 2 ご家人について調べ話し合う。 3 「恩」と「奉公」について考え、話し合う。

(2) 「鎌倉武士」の導入段階における授業の展開

ここでは、人物教材としての源頼朝を取り上げ導入とした。

指導要領に「源平合戦や鎌倉幕府の創立……などを人物や物語、伝承などを利用して、児童の力と理解力を育てる」とあります。

などを活用して重点的に理解させること」(内容(2)ウ)とあって、この時点で寺に入り、物語、云承などの話

源頼朝は、子供への印象づけが強くて特有の人物 特語 伝承などの活用を集中的に指示している。

く、また鎌倉時代を代表する人物である。その生い立ちや考え方を調べて

行く過程で、源平の戦いや鎌倉幕府の成立などがより具体的にとらえら

第一時で鎌倉幕府を取り上げたの
は別に、その發生。三十二年、二月

は創立までの過程や幕府のしくみなどを調べて行くことによつて、鎌倉幕府の歴史的意味をつかませること

ができると考へたからである。

問題に気づく ・源頼朝は、 し合う。	1 源頼朝の絵を見て、話
--------------------------	--------------

3	頼朝の生き立ち、源平	2	いつごろ何をした人か 話し合う。
な	の	だ	る

の戦い、平氏の滅亡を年表で調べる。

。問題を明確にする。
源頼朝は、
4 点を見ながら、問題
点をさぐる。

鎌倉幕府を
どのように
たてたのだ
ろうか。
5 問題点をはつきりさせ、
予想をノートに記入し、
発表する。

目標、そして小単元、一時限の目標を吟味し、相互の関連を図りながら、有効・適切な教材内容の選択を行うことにより努めたつもりである。

第二に、その精選された教材を基礎に、ゆとりの生じた配当時間を生かして、子供も、教師も資料や方法を工夫しながら、余裕ある学習展開ができるようになつて来たと言える。

(五) 反省と今後の課題